

## 成長・材質特性に優れたトドマツを選抜し、普及を進めています

国と道で精力的に進めた林木育種の取り組みによって、成長と材質特性に優れたトドマツを選抜することができました。選抜数は第1世代内の優良な系統が116、第2世代の優良な系統が444にのぼり、たとえば第2世代では、現在より材積で平均24%、材密度で2%優れた子どもを生産できると試算されます。

続いて、選抜された優良なトドマツの活用を進めます。具体的には、選抜系統を用いた新たな「採種園」を造成することとしました。採種園からは、選抜系統が親となった種子を得られるため、ここから優良な苗木を生産することができると期待されます。

そこで、まずは、西南部地域向けの種苗を生産する採種園を道有林（松前町大沢 1.16ha）に設定し、令和4年までに植栽、補植が完了しました（写真-1左）。令和4年からは、東部地域向けの採種園を道有林（大樹町生花 約2.7ha）に設定し、植栽を進めています（写真-1中）。今後は、中部地域（道北）や根釧地域向けの採種園についても順次造成予定です。採種園では、苗木1本1本の確実な系統管理を徹底しており（写真-1右）、これらが順調に生育すれば植栽15年後頃から種子の生産が始まる見込みです。優良な系統から、いち早く苗木が生産される日を心待ちにしています。



写真-1 新たなトドマツ採種園（左:松前町、中:大樹町）と、ラベルを付与して管理している優良な系統（右）

なお、近年はシカによる樹皮剥ぎなどの獣害がみられるため、適切な獣害対策を図る必要があります。そこで、1本1本に対して、専用の保護資材で幹を囲うようにし、確実な保育を図っています（写真-2、3）。



写真-2 専用のメッシュ資材を用いて、シカ等の獣害から苗木を保護した様子



写真-3 獣害対策を図りつつ保育される採種園の苗木

クローン増殖、苗木の準備は森林総合研究所林木育種センター北海道育種場のご協力を、採種園用地の選定や採種園造成、植栽苗の管理等においては北海道水産林務部と担当森林室のご協力を賜りました。（育種育苗 G 石塚航）

林業試験場 本 場 TEL 0126-63-4164 FAX 0126-63-4166  
道南支場 TEL 0138-47-1024 FAX 0138-47-1024  
道東支場 TEL 0156-64-5434 FAX 0156-64-5434  
道北支場 TEL 01656-7-2164 FAX 01656-7-2164  
ホームページ <https://www.hro.or.jp/fri.html>  
facebook <https://www.facebook.com/ringyoshi>

発行年月 令和5年1月  
発 行 地方独立行政法人  
北海道立総合研究機構  
森林研究本部 林業試験場  
〒079-0198 美咲市光珠内町東山